

Tsuwano



広報つわの

本州屈指の星空が見られる、
日原天文台を特集。

12 Dec.
2024
Vol.230

※写真：紫金山・アトラス彗星
※特集は2 - 4 ページに掲載



本州屈指の星空が見られる 日原天文台

昭和5年にアメリカで発見された星「プルート」に、
「冥王星」という和名を付けた英文学者・天文民俗学者
の野尻抱影氏が、著書『日本の星』を出版するきっかけ
となったのは、日原町（当時）の大庭良美さんでした。

星のふる里にある日原天文台の魅力をお伝えします。

＊写真：日原天文台から見た天の川



《天体観測ブーム》

ハレー彗星が地球に接近しつつあった昭和60年、全国的な天体観測ブームが巻き起こりました。天体望遠鏡市場が伸び、ハレー彗星を一目見ようと南半球への観測ツアーには申し込みが殺到しました。この年、全国初の公開天文台として日原天文台はオープンしました。
なお、ハレー彗星は約75年の周期を持っており、次にハレー彗星が地球に接近するのは、2061年といわれています。



《紫金山・アトラス彗星 C/2023 A3》

日本に住む70%の人が、天の川を見られない環境に暮らしているといわれている今日、人工的な光がほとんどなく、空気が澄んでいる日原天文台は、本州屈指の星空が見られるといえます。

令和5年に中国の紫金山天文台で発見された「紫金山・アトラス彗星」は、今年の秋に肉眼でも長い尾を観測できる大彗星となりました。彗星の周期は約8万年であり、天文学者の中には、再び太陽系に戻ることはないと思料する者もいたことから、大変注目されました。表紙の写真は、日原天文台で撮影された、紫金山・アトラス彗星です。彗星と太陽の位置関係や天候に左右され、観測が難しい日が続いた中で撮れた1枚です。



《スマート天体望遠鏡》

今年、日原天文台では、スマート天体望遠鏡「eQuinox2」を導入しました。通常、天体望遠鏡と聞くと接眼レンズを覗き込む絵が浮かびますが、eQuinox2には接眼レンズはありません。スマートフォンやタブレットのアプリと連動させ、手で天体が楽しめる他、銀河や星雲の写真撮影することもできます。

天文台にお越しの際、あるいは出張観望会等のイベントにて、ぜひ美しい天体をご覧ください。



天文台では、どんなことができますか？

「天文台では、地球環境の素晴らしさを学ぶことができます。星空を眺めながら、ぜひ自分と自然との関わりを体感してみてください。」

入館者数は、どのくらいですか？

「1年で最も入館者数が多いのは、8月です。特に、お盆休みにはたくさんのお客さんが訪れます。今年の8月には、天文台に200人、星と森の科学館に140人が来場されました。」

どのようなイベントが開催されていますか？

「天文台では、ペルセウス座流星群の観望会やクリスマスコンサートなどを

イベントには町外の方も来られるのですか？

「ペルセウス座流星群を見る夜のイベントには、約60人が来てくれます。町外からの参加者が多くいらっしゃいます。」

行っています。観望会では、芝生に寝っ転がって夜空を観察します。またクリスマスコンサートでは、津和野高校の合唱部が演奏してくれます。他にも、私たちが公民館や小学校に出向き出張観望会などを開催しています。
＊今年のクリスマスコンサートについては、22ページの「町内文化施設からのお知らせ」をご覧ください。



ペルセウス座流星群 観望会



学校給食へおいしいお米をいただきました！



町内の小中学生に地元のおいしいお米を食べてもらおうと、「わくわくつわの協同組合」に加盟する 14 の農事組合法人から、今年採れた玄米 98 袋（1 袋あたり 30kg）を無償でいただきました。

10 月 21 日（月）、「おくがの村ライスセンター」にて、学校給食用米贈呈式が執り行われ、町や学校、及び農業関係者等、およそ 60 人が出席しました。

贈呈式では、わくわくつわの協同組合理事長の糸賀盛人さん^{いとがもりと}から、農家の方々が苦勞して育てたお米、1 袋には約 136 万 3 千粒のお米が入っていることを教えていただいた他、人が生きていくために最も必要な「食」についてのお話をいただきました。

また、町内の小中学生を代表し、青原小学校児童の感謝のメッセージを紹介したり、木部小学校全校児童が元気いっぱいに歌を披露したりしました。

学校給食用のお米の無償提供は、平成 30 年度より始まり、今年度で 7 年目となります。
なお、今回いただきましたお米は、11 月より町内の小中学校の給食で提供されています。



「食」についてのお話をする糸賀さん

《生産者の想い》

これから巣立っていく子どもたちに、「農業の大切さを知ってほしい」、「ふるさとの味を覚えてほしい」、という想いからお米を贈っています。

年々人口が減少している津和野町ですが、辛いときや苦しいときは、ふるさとの味を思い出して、この町に帰ってきてくれると嬉しいです。

私たちの活動が、子どもたちの成長や町の活性化の一助になることを願っています。



仕事観について話す椋木さん

なぜ、天文台で働いているのですか？

「星が好きだった母の影響で、子どもの頃は、よく日原天文台に遊びに来ていました。日原天文台で星を見ることが

「お客様に『天文台』や天文台に隣接する『星と森の科学館』、『シアタールーム』を案内します。科学館では、時期によって変わる手作りのクイズを用意しており、お客様が楽しみながら、星や地球環境について学ぶことができますように工夫しています。また、シアタールームには、歴史や物理、太陽系にまつわる約 14 本のビデオがありますが、お客様一人ひとりに合わせて上映するビデオを選んでいます。」

イベントが無い日は、何をしていますか？

で、次第に私も星が好きになり、天文学に関する本を読むようになりまし た。月日は流れ、役場に就職して 6 年 が経過した頃、人事異動に伴い日原天文台の職員となりました。ご縁があり、こうして子どものときに憧れていた場所働くことができて幸せです。」

仕事にやりがいを感じるのは、どんなときですか？

「お客様から『自分が住んでいる街では、星が全く見えないのに、日原天文台では綺麗にみえる。』、『こんなに素晴らしい星空は初めて見た』といった、素直な感想を聞いたときは、大変嬉しいです。また、『ありがとう』と感謝の言葉をいただいた際は、この仕事をやっていて良かったと感じま す。」

最後に、町民の皆さまへ一言お願いします。

「満天の星空を見ると、とても癒されます。皆さんもぜひ、日原天文台で本州屈指の星空を楽しみながら、自然の素晴らしさを味わってみてください。」

職場体験の様子



取材中、真剣に話を聞く岸田さん



天文台から日原中学校を望むことができ、感動した様子の登米さん



天文台から見た景色



太陽を見せてもらえることに！



太陽を観察する岸田さん



短時間でカメラの使い方を覚えた登米さん

《感想》

・椋木さんは、天文台や星についての知識が豊富で驚きました。僕も将来は、椋木さんのように好きなことを仕事にしたいと思いました。（岸田）

・取材する際に、「どのような質問をすれば、相手が答え易いのだろうか？」と考えました。仕事においては、特に相手の立場に立って考えることが大切なのだと学びました。（登米）



0歳児からのひとづくり事業

育てたい力

課題を見抜く力

対話する力

行動する力・創造する力



「大人になっても自ら学び続ける」ひと

平成30年に町が策定した「0歳児からのひとづくりプログラム」に掲げられている、津和野町の未来を担う人材像です。

この地域総ぐるみによるひとづくりを持続的に実現し、「学び続ける・問い続ける・変わり続ける町」であるために取り組んでいることを紹介します。

保育園

芋掘りー直地保育園ー

今年の春ごろ、お散歩へ出掛けた時に地域の方から「芋掘りを手伝いに来ないかね？」と声をかけていただきました。直地保育園の畑でも何度かさつま芋の苗を植えているのですが、収穫がたくさんある年と量が少ない年とあり、また猿との戦いもあるため今年はどうしようかと悩んでいた矢先でした。

秋になり「これぐらい大きくなったよ」と地域の方が見せに来てくださったので、早速出掛けました。当日はいい天気にも恵まれ、子どもたちは芋が土から出てくると大喜びでした。掘り起こすと嬉しそうに両手で持って運び、頂いたお芋で早速焼き芋をして食べました。とても貴重な体験をさせていただきました。今後もお芋を使ってクッキングを楽しみたいと思っています。



2歳児クラスのサンドウィッチづくりー日原保育園ー

5月の終わり頃、5歳児クラスのお友達が夏野菜の種植えをしている姿を見て、「自分たちもやってみたい」と、きゅうりの栽培を始めました。毎日観察をしながら水やりをしてお世話をした結果、無事にきゅうりができて大喜び。子どもたちから「サンドウィッチが作りたい」という声が上がったので、サンドウィッチの絵本を参考に何の具材を入れるか話し合いをしました。具材が決まったところで、まごころ市場へ買い物に行き、調理をして、オリジナルのサンドウィッチができました。きゅうりの栽培を通して、食べることの喜びを感じ、野菜への興味関心も広がったように思います。

次はピザも作りたいと張り切っている子どもたち。子どもたちから発信される「やってみたい」を形にして、体験できるようにすることが子どもたちへの学びにつながっているのだと改めて感じた出来事でした。



まちづくり×企業×高校生

キャリアを考える！町内企業など8社と高校生が交流

10月9日（水）に、津和野町商工会の協力のもと、町内を中心とした企業と津和野高校2年生総合コースの約26名との交流会を実施しました。地場産業への理解促進はもちろん、働くことを通して地域や社会にどう貢献できるのか、自分にどんな可能性があるのかを考えてもらうことを目的としています。

高校生からは「好きなことを仕事にしたり、自社に誇りを持っている方ばかりだった。自分もそうになりたい」「どの企業も『自分がどうしたいか』よりも『相手はどうだと嬉しいか』を考えていると気づいた。進路を決める参考にしたい」、企業の方からは「まじめな生徒が多く、県外出身の生徒も石見地方の産業に興味を持ってくれた。地元企業の魅力を発信し続けて、若者に地域に残ってもらえるよう頑張りたい」との感想がありました。高校生が地域での働き方や生き方に触れ、考えることを通してキャリアの選択肢が広がり、地域活性の一助に繋がることも期待しています。



真剣に話を聞く高校生の姿が印象的でした

教育魅力化×中学校

中学生と大人が対話を通して学び合う！



中学生も大人の方も、とても素敵な表情で話していました

10月10日（木）、津和野中学3年生の総合的な学習の時間で、地域の大人と1対1で対話する「ツワトーク」を実施しました。ツワトークでは、これまでの人生で起きた出来事とその時の気持ちの変化を表したシートを活用しながら、自身の気持ちや考えを言葉にして伝え、自分がどうありたいかを、対話を通して考えました。

中学生からは「素敵な大人と対話し、自分もそうなりたと思った」「将来について考えることができた」、大人からは「自分のことを考える良い機会になった」等の感想がありました。ツワトークの前後に実施した中学生のアンケート結果からは、自己理解の深化や進路意識の明確化に大きな変化が見られ、対話を通じたコミュニケーション能力の向上を含む社会で活躍するために必要不可欠な「土台となる力」を育むことができました。今後も、子どもの成長が大人の学びも刺激することで成長が循環する「まち全体が学びの場」の体現に向けて取り組んでいきます。



令和3年に設立された「一般財団法人つわの学びみらい」が、健康福祉課や教育委員会、現場の先生方とともに、これらの活動に取り組んでいます。詳しくは、つわの学びみらいのホームページ・Facebookをご覧ください！



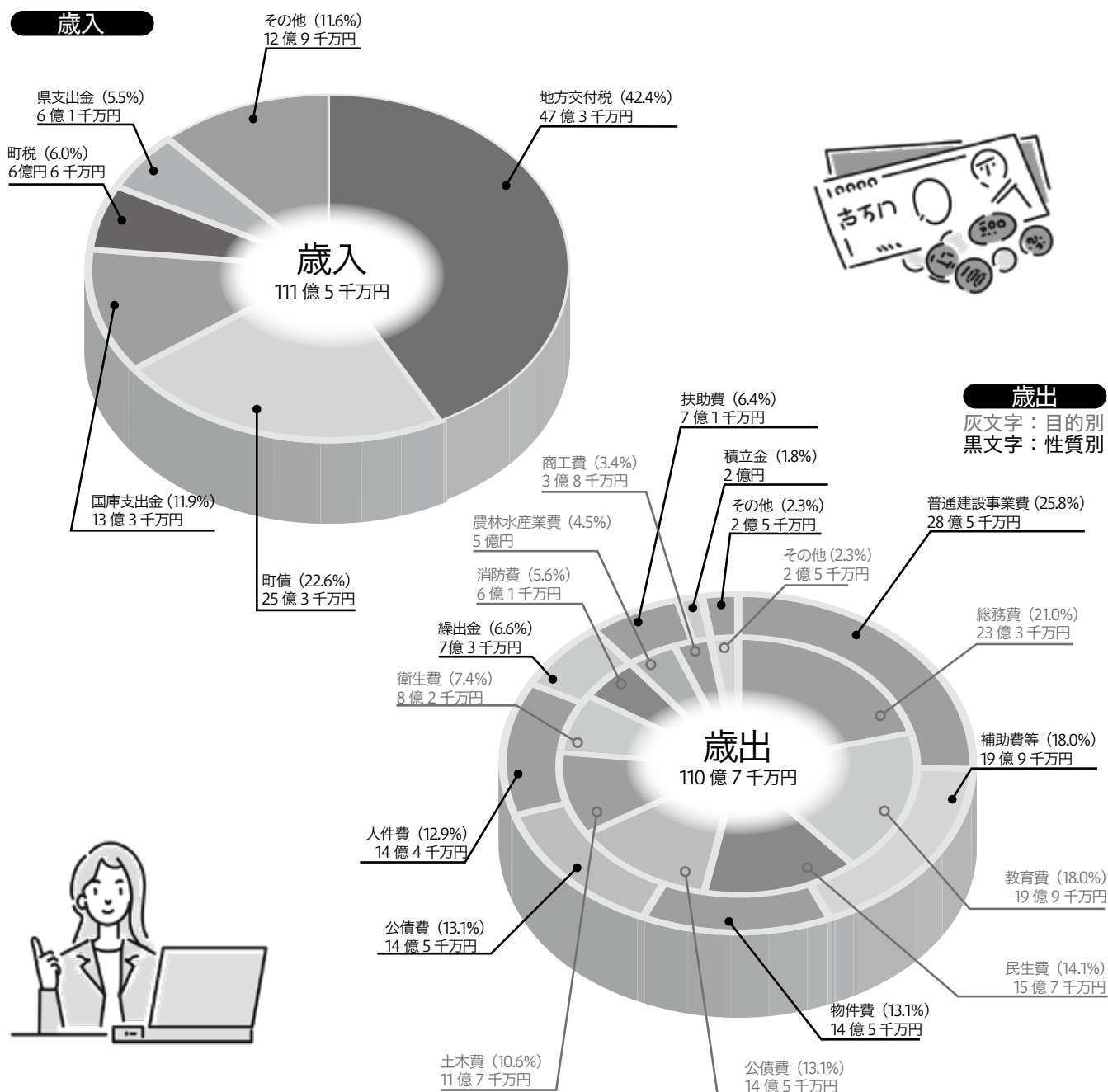
HP



Facebook

【一般財団法人つわの学びみらい】 所在地：津和野町後田ハ12-3 ☎ 72・1506 ✉ info@tsuwano-mm.org

一般会計における歳入と歳出



歳出
灰文字：目的別
黒文字：性質別

令和5年度会計決算について お知らせします



◎令和5年度の津和野町一般会計決算は歳入111億5,094万に対し、歳出110億7,729万4千円、残額7,364万6千円となっています。実質公債比率は11.1%と昨年度比で0.9ポイント増、予算の硬直度を示す経常収支比率は88.0%と昨年度比で1.0ポイント上昇しています。

住民負担の概要：102,729円の負担

昨年度は町の皆さまからお一人あたり、102,729円のご負担をいただきました。皆さまからお支払いいただいた税金等の合計は6億6,423万7千円でした。この中には個人（法人）町民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税、入湯税などが含まれます。

一人あたりの借金：245万円

町が事業を行う際には起債（借金）をすることがあり、その借金は長い年数をかけて返済していくことになっています。令和5年度末時点の合計残高は158億3353万5千円、一人あたり244万8,737円となっています。

一人あたりの貯蓄：50万円

先の起債とは逆に町の貯金ともいえる各種基金の合計額は令和5年度末時点で32億871万1千円、町民一人あたりでは49万6,244円となりました。借金返済と貯金を優先するあまり、行うべき事業が停止しないよう計画的なお金のやりくりが必要となります。

使用料及び手数料：1億4,394万3千円の収入

有施設（体育館やセンター）などの使用料合計は1億2,171万5千円。住民票発行時などの各種手数料合計は2,222万8千円、2つを併せて合計1億4,394万3千円となっています。

財政分析数値：柔軟に使えるお金は全体の12%

町の全体のお金の中で、人件費や先述した起債の返済金（公債費）など必ず支払わなければならないお金が占める割合を示す経常収支比率は88.0%で、昨年度から1.0ポイント上昇しています。この数値が100%に近いほど、財政にゆとりが無いということになります。また、収入にしめる負債（借金）の割合を示す実質公債比率は11.1%となり、昨年度から0.9ポイント上昇しました。

詳細データ：町ホームページで公開中

紙面上では、令和5年度の会計決算の概要についてお伝えしました。詳細データや、各会計の決算詳細等は町ホームページで公開しています。ホームページ「町民の方へ」から「町の情報」をクリックし、「役場の紹介」『決算・財政状況』の項目に過去年度の決算報告等と併せて公開しています。また、右記のQRコードからもホームページ『決算・財政状況』が閲覧できます。その他、総務財政課にお問い合わせください。（総務財政課 ☎74-0028）



決算・財政
状況

津和野町水道事業 令和 5 年度の業務状況



◎令和 5 年度も、前年度に引き続き、老朽化した施設や管路の改修、クリプト対策としての高度浄水施設の整備、水道未普及地域解消事業として麓耕地区への上水道整備を継続して行いました。

給水の状況

令和 5 度末の給水人口は6,085人で、前年度と比較して215人の減少、給水戸数は3,769戸で、前年度と比較して14戸の減少となりました。

本年度の年間配水量は992,965㎡で、前年度より52,503㎡の増加となりました。また、年間有収水量は722,428㎡で、前年度と比較して17,568㎡減少し、有収率は5.9ポイント減少し、72.8%となりました。

区 分	令和 5 年度 (A)	令和 4 年度 (B)	比 較	
			増減 (A-B)	比率 (A/B)
給水区域内人口	6,085 人	6,300 人	△ 215 人	96.6%
給 水 戸 数	3,769 戸	3,783 戸	△ 14 戸	99.6%
年 間 配 水 量	992,965㎡	940,462㎡	52,503㎡	105.6%
一日平均配水量	2,720㎡	2,577㎡	144㎡	105.6%
年間有収水量	722,428㎡	739,996㎡	△ 17,568㎡	97.6%
一日平均有収水量	1,979㎡	2,027㎡	△ 48㎡	97.6%
有 収 率	72.8%	78.7%	△ 5.9 ポイント	92.5%

建設改良事業

令和 5 年度施行した主な事業内容は、次のとおりです。

建設改良事業として、緊急管路改善事業として布設から40年以上経過した老朽管の耐震化工事を施工し、給水の安定化に努めました。継続事業としては、昨年度から引き続きクリプト対策による高度浄水施設整備事業として日原第 1 水源池浄水場施設整備工事、水道未普及地域解消事業で麓耕地区の上水道整備の工事を行いました。

経理の状況

収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）については、収益総額が 356,326,141円で、前年度に比べ38,771,774円の減少となりました。内訳の主なものは、水道使用料、一般会計補助金、長期前受金戻入によるものです。

また、費用総額は、322,408,958円で、前年度に比べ11,173,656円の減少となりました。内訳の主なものは、水道施設の維持管理費と減価償却費によるものです。

以上の結果、当年度純利益は、33,917,183円となりました。

なお、本年度の消費税及び地方消費税の還付額は、6,412,723円となりました。

次に、資本的収支（消費税及び地方消費税込み）については、収入総額が317,694,000円で、前年度に比べ26,029,000円の減少となりました。内訳の主なものは、企業債、一般会計補助金、国庫補助金によるものでした。

一方、支出総額は、390,728,901円で、前年度に比べ38,302,872円の増加となりました。内訳の主なものは、浄水場及び管路の整備や企業債の償還によるものです。



津和野共存病院 令和 5 年度の経営状況

令和 5 年度の病院事業については、医療法人橘井堂を指定管理者として津和野共存病院の管理運営を行い、また、津和野町医療・介護統括管理者により、経営面等様々な助言をいただき運営してまいりました。

利用代行制により、診療報酬等は町の収入となり、指定管理者には、人件費等の必要経費を診療報酬交付金として支払いました。収益的収入の総額は、852,226,101円、一方、収益的支出の総額は824,573,702円でした。これにより、当年度純利益は27,652,399円となりました。また、資本的収入の総額85,512,891円に対し、資本的支出の総額は104,395,781円で差引き18,882,890円の資金不足が生じました。この不足額は過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

津和野共存病院は、町内唯一の入院施設として益田赤十字病院をはじめとする益田圏域の各医療施設と連携し、急性期から回復期、そして在宅診療等の機能を担っています。

医師不足などから平成25年12月より夜間救急外来を閉診していますが、開業時間内においては可能な限り救急医療体制を維持しています。

津和野共存病院で可能な内科系救急患者の受け入れや、益田広域消防とも連携して電話でのトリアージ(最善の治療を尽くすための優先順位の決定)を行い、益田圏域のみならず県外総合病院を含めての転搬送など地域の救急医療を担っています。

また、医療ニーズの変化により、従来型の専門診療ではなく、一人の患者を包括的かつ継続的に診る「総合医」を平成31年度より確保しております。

一般病床49床のうち36床を地域包括ケア病床として急性期へのアプローチのみならず、町民の皆様が住み慣れた地域で生活するための在宅復帰支援を行っており、津和野町の指定管理施設として地域医療ニーズを広角的に捉え地域医療維持に貢献しています。

なお、令和 5 年度は検査精度の向上のためMRIを更新し、また、病院施設も建築から30年以上が経過しているため、屋上他防水工事を行いました。

財務に係る数値目標と実績

区分	令和 5 年度	
	目標	実績
経常収支比率※ 1	100.0%	101.8%
入院患者数	14,640 人	15,369 人
病床利用率※ 2	81.6%	85.7%
一日当たり入院単価	32,000 円	33,002 円
外来患者数	16,940 人	17,883 人
一日当たり外来単価	7,800 円	7,976 円

※ 1 病院事業会計の経常費用に対する経常収益の割合。100%以上で黒字。

※ 2 病院の施設が有効に活用されているかどうか判断する指標。病床数（休止病床除く）に対する延べ入院患者数の割合として算出。





令和 7 年度保育所等の新入園児を募集します

健康福祉課 ☎ 72-0673

令和 7 年度保育所等の新入園児を募集します。

対象施設

- ・ 津和野幼児花園
- ・ 日原保育園
- ・ 青原保育園
- ・ 木部さとやま保育園
- ・ 直地保育園
- ・ 山のこども園うしのしつぽ
- ・ 畑迫保育園

提出書類

次の書類をご用意ください。書類は健康福祉課および本庁舎総合窓口にあります。

- ① 支給認定申請書・保育園等入園申込書
- ② 就労証明書もしくは保育の利用に関する証明書（就労以外）

※保護者等の状況により、勤務先の事業主もしくは地区担当民生委員による証明が必要となります。

※必要に応じて別途書類を提出していただきます。

③ 保育料軽減申請書（3 歳未満児のみ）

募集期間

令和 6 年 12 月 2 日（月）～令和 7 年 1 月 31 日（金）

※なお、希望された園において定員を超えた場合等は、保育の必要性の程度を考慮して利用調整をさせていただきます。

入園基準

保護者等が次のいずれかの理由に該当する場合

- ・ 就労
- ・ 妊娠・出産
- ・ 疾病・障がい
- ・ 介護・看護
- ・ 災害復旧
- ・ 求職活動（※90 日以内を限度）
- ・ 就学
- ・ 育児休業
- ・ 社会的養護が必要な場合
- ・ その他町長が認める場合

※3 歳以上児で入園基準に該当しないが、入園を希望される場合は別途お問い合わせください。

※入園継続の園児については、各園より案内があります。



令和 7 年度放課後児童クラブ入会の申込について

健康福祉課 ☎ 72-0673

令和 7 年度放課後児童クラブの入会申込み（現在利用中の児童を含む）について受付を開始します。

対象施設

- ・ つわのっこクラブ
- ・ 畑迫あじさい児童クラブ
- ・ きべっこクラブ
- ・ 日原ひまわりクラブ
- ・ あおぞらクラブ

提出書類

入会をご希望の方は、期限内に申込書類を健康福祉課または本庁舎総合窓口（継続の方は利用されている放課後児童クラブ）に提出してください。

- ① 入会申込書
- ② 就労証明書または就労以外証明書

※保護者等の状況により、勤務先の事業主もしくは地区担当民生児童委員による証明が必要となります。

※現在、町内の小学校に在学中の児童については提出書類を各小学校から配布します。

※その他の方については健康福祉課または本庁舎総合窓口でお受け取りください。

募集期間

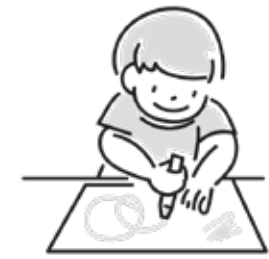
令和 6 年 12 月 2 日（月）～令和 7 年 1 月 31 日（金）

入会基準

保護者等が次のいずれかの理由に該当する場合

- ・ 就労
- ・ 妊娠・出産
- ・ 疾病・障がい
- ・ 介護・看護
- ・ 災害復旧
- ・ 求職活動
- ・ 就学
- ・ 育児休業
- ・ その他（※右記に類するものとして町が認める事由に該当する場合）

※放課後児童クラブの開所時間は午後 6 時 30 分までとなっていますので、お迎えにつきましては時間厳守をお願いします。





令和 6 年度津和野町表彰式を開催しました

総務財政課 ☎ 74-0028



集合写真



受賞者（大庭 耕助さん）による謝辞の様子

11 月 3 日（日・祝）、津和野町表彰式が日原小学校体育館で行われ、津和野町表彰条例に基づき、各種分野において町の振興発展にご貢献いただいた 4 名の方と 3 団体へ、下森町長から感謝の意をこめて表彰状と記念品が贈られました。

功労表彰

〈個人〉

大庭 耕助さん

長年にわたり池河句会の代表として句会の活動や会員の育成に尽力され、地域の文化活動の発展と継続に貢献されました。

児玉 幸子さん

長年にわたり様々な世代の人々へ書道を通じた文化教育を行い、次世代を担う人材の育成に貢献されました。

大庭 照夫さん

長年にわたり日原町助役として地方自治の発展に尽力されたほか、地域の各種団体の代表として地域の維持及び形成に貢献されました。

齋藤 仁士さん

長年にわたり直地児童館建設推進委員会や千倉沼を守る会を設立し、会長を務めるなど中心的な役割を担い、直地地域の振興に貢献されました。

〈団体〉

日原郷土史研究会

（代表 大庭 堅資さん）

長年にわたり日原歴史民俗資料館の管理運営や社会学習指導の実施など津和野町の文化財の保護及び継承に貢献されました。

柳自治会

（会長 竹内 保章さん）

長年にわたり国史跡山陰道徳城往還の草刈りなど津和野町の文化財を守る環境整備に貢献されました。

小直自治会

（会長 村上 栄二さん）

長年にわたり瀧元地区の環境整備に尽力され、小直の雄瀧・雌瀧の石畳の整備を行うなど津和野町の文化財の保護に貢献されました。



しゅわ はな
手話で話そう！

にちじょうかいわ つか しゅわ しょうかい
日常会話で使う手話を紹介します

こんげつ しゅわ わ
今月の手話 分かる、分かっている
知る、知っている



みぎて むね あ
右手を胸に当て、
そのまま撫で下ろす。

けんこうふくしか ☎ 0856・72・0673
健康福祉課 FAX0856・72・1650

12月	日 -Sunday-	月 -Monday-	火 -Tuesday-
	1 ◎石見神楽公演(むつみ神楽保存会) (なごみ /11:00-12:00)	2	3 ◎なかよし体操中座※ ¹ (中座会館 /10:00-11:30) ◎パソコン教室 (日公 /10:00-12:00) ◎いきいき百歳体操※ ² (町セ /13:00-) ◎青原百歳体操※ ¹ (青原公民館 /13:30-15:00)
納期限1月6日	8	9 ◎畑迫 HBG 体操クラブ※ ¹ (畑迫公民館 /10:00-11:30)	10 ◎青原百歳体操※ ¹ (青原公民館 /10:00-11:00) ◎パソコン教室 (日公 /10:00-12:00) ◎いきいき百歳体操※ ² (町セ /13:00-) ◎音読会 (津和野図書館 /14:00-15:00)
町税等の支払いは口座振替が便利でおススメです 主な行事のお問合せ先 ■行政相談 総務財政課…………☎ 74-0028 ■交通事故相談 島根県交通事故相談所 ☎ 0852-22-5102 ■無料人権相談 税務住民課…………☎ 74-0059 ■健康相談, 育児相談, 乳児・幼児健診, ケアサロン, 手話生活相談, 心の相談 健康福祉課…………☎ 72-0657 …………☎ 72-0673 ■心配ごと相談(各地区含む), 無料法律相談 社会福祉協議会 津和野支所…………☎ 72-1494 ■明るい生活相談 社会福祉協議会本所☎ 74-1617 ■パソコン教室, フラダンス 日原中央公民館……☎ 74-0302 ■水彩画教室 津和野町民センター☎ 72-2070 ■キラキラ体操教室, 元氣アップ教室, フォロー教室 地域包括支援センター☎ 72-0683 ■断酒会 断酒会鹿足支部 ☎ 090-9061-8012 ■囲碁クラブ 滝元枕瀬公民館……☎ 74-0680 ■津和野夜神楽 津和野町観光協会…☎ 72-1771	15 ◎しまね家庭の日※ ³ ◎乳・子宮頸がん検診 (役場本庁舎 /9:00-14:15) ◎第 182 回輪読鷗外 (森鷗外記念館 /10:00-11:00)	16 ◎つわのオレンジカフェほっと (畑迫ほたるの宿 /10:00-12:00)	17 ◎健診結果報告会 (役場本庁舎 /9:00-) (町セ /13:00-) ◎名賀のぞみクラブ※ ¹ (名賀地域センター /10:00-11:30) ◎パソコン教室 (日公 /10:00-12:00) ◎いきいき百歳体操※ ² (町セ /13:00-) ◎青原百歳体操※ ¹ (青原公民館 /13:30-15:00)
	22	23 ◎ひきこもり相談会 (障害者福祉センターはなみずき /13:30-) ◎小川はつらっクラブ※ ¹ (小川公民館 /14:00-15:30)	24 ◎びよんびよん教室 (ぶどうの木 (幼花園) /9:30-11:00) ◎パソコン教室 (日公 /10:00-12:00) ◎つわのオレンジカフェほっと (社協津和野 /10:00-12:00) ◎いきいき百歳体操※ ² (町セ /13:00-) ◎青原百歳体操※ ¹ (青原公民館 /13:30-15:00) ◎音読会 (津和野図書館 /14:00-15:00)
	29	30	31

※1 地域運動推進員サロン活動・研修会
※2 ひまわりクラブ
※3 家庭のあり方を見つめなおし、家族でふれあう時間を作るために設けられた日

水 -Wednesday-	木 -Thursday-	金 -Friday-	土 -Saturday-
4 ◎さくら会※ ¹ (須川公民館 /10:00-11:30) ◎ひのきの湯 (なごみ /10:00-21:00) ◎きらぼしサポートルーム (障害者福祉センターはなみずき / 午後) ◎水彩画教室 (町セ /19:00-)	5 ◎あさぎりの湯定休日 (なごみ) ◎津和野地区ゴムバンド教室 (町セ /10:00-11:30) ◎フラダンス教室 (プラサ枕瀬 /13:30-14:30)	6 ◎明るい生活相談・人権相談 (やま /10:00-12:00) ◎いきいき百歳体操※ ² (町セ /13:00-) ◎囲碁クラブ (プラサ枕瀬 /13:00-17:00)	7 ◎月いちボランティア (なごみの里駐車場/8:00-9:00)
11 ◎乳・子宮頸がん検診 (町セ /9:00-14:15) ◎育児・栄養相談 (日原子育て支援センター /10:00-11:30) ◎ゆず湯 (なごみ /10:00-21:00) ◎しまね西部若者 Café トリジョン 出張相談会 (やま /11:00-12:00) (町セ /13:30-15:00) ◎手話生活相談 (役場本庁舎 /13:30-16:00) ◎遺言・相続・後見相談 (福セ /13:30-16:00) ◎断酒会 (町セ /19:00-21:00)	12 ◎あさぎりの湯定休日 (なごみ) ◎つわのオレンジカフェほっと (やま /13:30-15:15) ◎幼児健診 (プラサ枕瀬 / 午後)	13 ◎元気会※ ¹ (やま /10:00-11:30) ◎心配ごと相談・行政相談・人権相談 (福セ /10:00-12:00) ◎いきいき百歳体操※ ² (町セ /13:00-) ◎史談会 (町セ /13:30-)	14
18 ◎にこにこ会※ ¹ (プラサ枕瀬 /10:00-11:30) ◎ひのきの湯 (なごみ /10:00-21:00) ◎すみれ会※ ¹ (小瀬会館 /13:30-15:00) ◎かけ橋の会 (町セ /14:00-16:00) ◎水彩画教室 (町セ /19:00-) ◎断酒会 (プラサ枕瀬 /19:00-21:00)	19 ◎あさぎりの湯定休日 (なごみ) ◎リハビリ来い、鯉クラブ※ ¹ (町セ /10:00-11:30) ◎津和野地区ゴムバンド教室 (町セ /10:00-11:30)	20 ◎明るい生活相談・行政相談 (やま /10:00-12:00) ◎いきいき百歳体操※ ² (町セ /13:00-) ◎囲碁クラブ (プラサ枕瀬 /13:00-17:00) ◎無料法律相談 (やま /13:30-16:00)	21
25 ◎ゆず湯 (なごみ /10:00-21:00) ◎ワーク WORK 相談 (障害者福祉センターはなみずき /13:30-) ◎手話生活相談 (役場本庁舎 /13:30-16:00)	26 ◎あさぎりの湯定休日 (なごみ) ◎育児・栄養相談 (ぶどうの木 (幼花園) /10:00-11:30) ◎フラダンス教室 (プラサ枕瀬 /13:30-14:30)	27 ◎日原図書館・津和野図書館 休館日	28
		年末年始のお休み ◇ 12/28 ～ 1/5 ・津和野町役場 ◇ 12/29 ～ 31 ・森鷗外記念館 ・安野光雅美術館 ・桑原史成写真美術館 ◇ 12/30 ～ 1/4 ・津和野図書館 ・日原図書館 ◇ 12/30 ～ 1/5 ・郷土館 ・養老館 ・旧堀氏庭園 ・旧畑迫病院 ◇ 12/31 ～ 1/1 ・日原文台 ・星と森の科学館 ◇ 1/1 ～ 3 ・日本遺産センター	

なごみ 津和野温泉なごみの里
シルク シルクウェイにちはら